



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

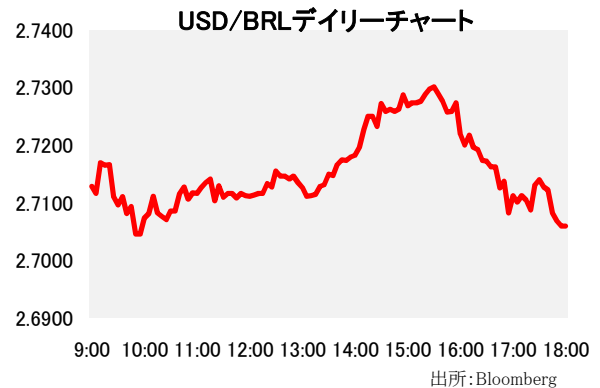
1. マーケット・レート

			12月26日	12月29日	12月30日	1月2日	1月5日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2.6690	2.7050	2.6580	2.6940	2.7060	+0.0120
	JPY/BRL	Spot	0.02217	0.02241	0.02223	0.02239	0.02270	+0.0003
	EUR/USD	Spot	1.2177	1.2153	1.2155	1.2005	1.1939	-0.0066
	USD/JPY	Spot	120.39	120.72	119.56	120.34	119.51	-0.8300
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.588	12.615	12.600	12.625	12.589	-0.036
	Future	1Year(p.a.)	12.939	12.968	12.953	12.895	12.805	-0.090
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.999	2.365	2.086	2.159	2.303	+0.144
	USD	1Year(p.a.)	3.029	2.805	2.415	2.642	2.731	+0.089
株式	Bovespa指数		50,145	50,594	50,007	48,212	47,517	-695
CDS	CDS Brazil 5y		186.04	191.93	197.67	209.36	225.67	+16.31
商品	CRB指数		234.648	233.243	233.479	228.414	226.727	-1.69

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

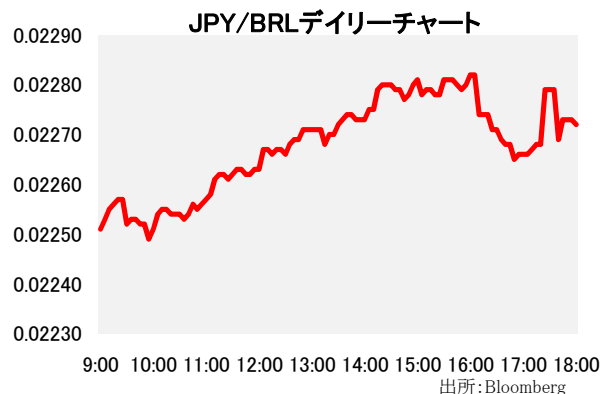
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.75%	0.74%	0.76%
貿易収支(月次)	\$219M	\$293M	-\$2350M
総輸出	\$18655M	\$17491M	\$15646M
総輸入	\$18200M	\$17198M	\$17996M
(独)消費者物価指数(前年比)	0.30%	0.20%	0.60%



3. 要人コメント

レヴィ新財務相	2015年の予算調整は今後数週間で行われる。税制の調整を検討することになる。2015年の基礎的財政収支をGDPの1.2%にすることは可能である。
---------	--



4. トピックス

- 本日のドルレアルは2.7110で寄り付いた。オープン直後に本日の高値となる2.7040をつけるとその後は株安、原油安を受けてレアル売りが優勢となり、2.7290までジリ安の展開。しかし、引けにかけては反発して2.7060でクローズした。
- ブラジル中銀によるアナリスト予想調査では、2015年のGDP成長率予想が0.55%から0.50%に引き下げられる一方で、同年末のインフレ率予想は6.53%から6.56%に上方修正された。政策金利と為替レート予想は先週から不変で、それぞれ12.5%、2.80BRL/USDだった。
- ギリシャのユーロ脱退への懸念やECBがデフレ回避のために大規模な国債購入に乗り出すとの憶測を背景にユーロが売られ、ユーロドルは2006年3月以来8年9ヶ月ぶりの水準となる1.1887を示現した。
- ロシアの生産増加とイラクの輸出増加計画を受けて、原油市場では供給過多の状態が長期化するとの観測が広がり、原油価格は続落した。WTIは2009年4月以来初めて1バレル当り50ドルを割り込んだ。リスク資産売りの流れから株式は世界的に総崩れとなり、ボベスパ指数も前日比2%下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。